

平 成27年に亡くなった漫画家、水木しげるさん(1922~2015)の妖怪漫画「ゲゲゲの鬼太郎」。そのトリックアートが7月21日から湯前まんが美術館で開催され、9月2日まで好評開催中です。

トリックアートとは、人間の目の錯覚を利用して、絵画を立体的に見せたり、見る角度によって印象が変わったりする作品のことです。

同展示は全国各地で開催されるほどの人気ぶり、人吉球磨での開催は初。「妖怪四十七士 日本縦断の旅」をテーマとし、さらわれた猫娘を取り戻すために、主人公の鬼太郎と一緒に日本を北から南へ縦断するというストーリー。各地方のご当地妖怪たちとの出会いや戦いのシーンがトリックアートとして会場いっぱいになっています。

展示では、カメラの持ち込みも許可されていて不思議な絵画を見るだけでなく、妖怪たちとの記念撮影も楽しむことができます。館内では、ヘアクリップやポーチなどの小物やクッションなど、キャラクターグッズの販売も行っていきます。



妖術で大きさが変化？

Hotopi
ホットなわだいをあなたへ

No.1 飛び出す妖怪たち 会いに行こう

ゲゲゲの鬼太郎 トリックアートの館



妖怪一反木綿に乗って猫娘を救出

写真協力:まんが美術館 大寺ひかりさん 大林達明さん

- 期 間 ~9月2日(日)まで 会期中無休
 - 開館時間 午前9時30分~午後5時
 - 観 覧 料 高校生以上 300円(210円)
小・中学生 100円(70円)
※()内は20人以上の団体料金
 - お問い合わせ 湯前まんが美術館
☎0966-43-2050 湯前町1834-1
- ホームページ <http://yunomae-manga.com/>



ここでしか手に入らない妖怪グッズが盛りだくさん

No.2

命令出して、右に左に ロボット操作で プログラミングを体験



授業で習うより早い時期からプログラミングに親しむ参加者たち

「ロボットで遊ぼう、ワークショップ」が7月1日にレールウイング内の展示体験販売施設で行われ、小学1年生~4年生と家族7人が参加し、ロボットやドローンを動かして楽しんでいました。

2020年に全国の小学校でプログラミングが必修化することに合わせ、プログラミングの楽しさを感じてほしいと奥球磨スマートタウン研究



線の上を走り、色の組み合わせで進む方向が変わるロボット

所(横山正人代表理事)が主催。地域おこし協力隊の森田明大さん(30||中里)が講師を務めました。

ワークショップで使ったのは、手のひらサイズの「オゾロボット」というロボット。線の上を走り、色の組み合わせで命令することができる性質を持ちます。最初は紙とペンを使って線を書き、自由にロボットを動かしました。その後、タブレットを使って「右に曲がる」「左に曲がる」などの命令を組み合わせ、定められたスタートからゴールまでロボットを動かしていました。

参加者は小型ドローンの操縦も体験し、楽しんでいました。森田さんは「初対面同士の子どもたちでも、ゴールまで競い合いながら楽しんでいたのでよかったです。こつをつかんだ子どもたちはさらに考えを発展させ、ロボットにいろんな動きをさせていた」と教室の様子を話していました。

No.3

国際協力でマラウイへ 山北亜美さんがJICA での活動を報告



鶴田町長に現地での生活や仕事の様子を伝えた山北さん

開発途上国への国際協力を行う独立行政法人国際協力機構(JICA)の平成28年度1次隊として、アフリカのマラウイ共和国で2年間活動していた山北亜美さん(32||瀬戸口)が7月17日に湯前町役場を訪れ、鶴田正巳町長に活動を報告しました。

以前、福岡県で夜間や緊急時のフリーランス看護師として活動していた山北さんは中学生時代にアメリカへ留学したことで海外に興味を持つようになり、JICAの試験を受験。平成28年の7月からマラウイ共



観光地、マラウイ湖での一枚。助け合いなどたくさんのことを学んだ2年間(中央:山北さん)

和国のムワンザで活動。看護師としての経験を生かし、現地の病院で職場や衛生環境の改善、医療・看護のサポートを行いました。

役場を訪れた山北さんは仕事や食事、生活の様子を鶴田町長に報告。「なぜ、この子どもたちが死ななければならぬのか」というつらい現状を見ました。2、3歳ほどの小さな子どももみんなに食べ物分け与え、お店の人は裕福でなくても、私が買い物をしたときに、よくおまけをつけてくれた。現地の人の心の広さを感じた。たくさん学んだ」と話しました。

今後について鶴田町長から尋ねられた山北さんは「JICAに行くという一つの目標が叶った。これからはまた看護師として働く。人手の足りないところでの看護に貢献したい。離島に行くのか、アジアの病院に行くのか、豪雨災害の地にボランティアに行くのか。これから考えていきたい」と話していました。